



工学部・教室図書室

機械系図書室

工学部には学部単位の図書室はなく各教室ごとに図書室をもっている。工学部2号館の中央にある本図書室は工学部の学科増設の波に乗って新設された精密工学科、機械工学第二学科と70余年の歴史をもつ機械工学科の3教室が共通に利用・管理している。蔵書数約15,000冊、購入雑誌は和洋あわせて約120種類であり、1日の利用数はほぼ20冊である。

機械工学の性質上他の学問との境界領域の図書の要求が多く、他教室の図書室を利用する者が非常に多い。またこれら境界領域の図書数も増えているが、これらの分類も懸案事項の一つであり、他教室や学外の利用者に迷惑をおかけすることもある。

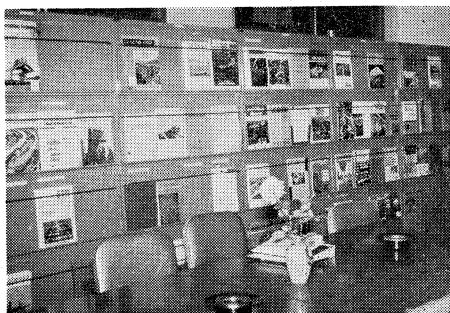
学部学生の演習、実験、設計のための自習室を兼ねた閲覧室の拡大も数年来考えられているが、今の所約330冊の開架図書を揃えたにすぎず、閲覧室の狭いことと職員の勤務時間外の利用ができぬことが学生の不満のようである。なお本図書室では教授といえども最高20冊しか借用できない規則になっており、狭い書庫(36坪)に同じ図書が2冊以上並ばないように、またできるだけ多種多量の図書を購入できるようにとの配慮がなされてきたが、新刊図書に対しては利用者も多く見たい本が見られないという声が多い。現在の職員2名では日常の貸出業務に追われ、雑誌の複写、文献調査等を含めたより使い易い図書室への改革には教職員すべてが協力する必要がある。

土木系図書室

本部構内北側中央のやや東寄りに、今は残り少なくなった赤煉瓦の建物を抱くようにコの字型に建っている土木総合館の三階東南角に土木系(土木工学教室・衛生工学教室・交通土木工学教室)の図書室がある。明治30年理工科大学が出来た時に、土木工学講座が出来、以来70余年、昭和33年に衛生工学教室、同38年に交通土木工学教室が生れ現在に到っている。

現在蔵書冊数は約32,000冊年々の増加冊数は約1,500冊になり、約260m²ある書庫も狭くなって来ている。閲覧室は普通の閲覧室と近着雑誌閲覧室と二つあって、前者は事務室と共通ではあるが、冷房もあり夏も快適に読書が出来る様になっている。雑誌閲覧室はその年度の内外雑誌を雑誌架に納めてありその場で読んで帰られる様になっているが、事務室より離れており冷房の設備もなく管理と利用に今一つの所があり、今後考えなくてはならない事だと思っている。

大部分は閉架式であるが一部開架式になっており、土木系以外の方々にも出来る限り利用願える様にしているが、何分にも手不足にて職員3名では充分な事の出来ないのが残念である。



土木系図書室雑誌閲覧室

あとがき この号は新入生のために、附属図書館を利用するさいの要領をまとめてみました。長い歴史をもった図書館なので、利用上にいろいろ不便な面もあるかもしれませんが、要領をよくのみこんで充分に利用してください希望します。また本号より発行部数を1,000部ふやし、部局学生数の1割にたいして配布できるようにしました。新しい編集員を紹介します。

小国健一(本館) 林豊次郎(本館) 須原英夫(本館) 仙頭 毅(本館) 中西公子(本館)

中川治夫(本館) 河北政子(本館) 矢野正治(教養) 竹島武郎(法)

木村伸夫 (理) 福永清美 (経) 井ノ口直子(文) 荒田信子 (医)

京都大学附属図書館報「静脩」Vol. 6, No.1 (通号28号)1969年5月15日発行・編集発行人：
岩猿敏生 発行所：京都大学附属図書館・京都市左京区吉田本町・電代表771-8111(内線)2220~2238